

評価種別 継続箇所評価
適用基準名 漁港漁場整備事業（漁港整備）

事業コード(H22-農-継-14)
箇所名 (にかほ市金浦)

1. 評価内訳

観点	評価項目 細別	評価基準	配点	評価点	摘要
必要性	事業の必要性				
	県民のニーズ	一般県民を対象とした調査でニーズが高い 一般県民を対象とした調査でニーズを把握 一般県民を対象とした調査を行っていない	5 3 1	1	
	社会経済状況変化による需要変化	増大している 特に変化はない 低下している	5 3 1	3	
	事業箇所の現状				
	漁業活動の現状	操業におおいに支障を来している 操業にある程度支障を来している 操業に支障を来していない	5 3 0	5	
	今後の具体的効率性見込み				
	出漁日数の増加	出漁日数の増加が推計される 出漁日数は増加しないと推計される	5 0	5	
	作業時間の短縮	漁業作業時間が短縮する 漁業作業時間は短縮しない	5 0	5	
	計		25	19	
	緊急性	漁業活動における支障			
現況の港内静穏度		所要安全波高の2倍以上で事故の危険がある 所要安全波高より高く出漁・係船に支障がある 所要安全波高を満たしている	5 3 0	3	
現況の漁港施設状況		老朽化又は機能不全のため施設利用ができない 老朽化又は機能不全のため利用上支障がある 特に施設利用上の支障はない	5 3 0	3	
事業未実施の影響		事業効果や効率性、周辺への影響等が大きい 事業効果や効率性、周辺への影響等は小さい	5 1	5	
他事業との関連		関連する他事業との調整で緊急性が高い 関連する他事業との調整で緊急性は低い	5 0	0	
計			20	11	
有効性	今後の具体的有効性見込み				
	水産物属地陸揚げ量の増加	陸揚げ量の増加が推計される 陸揚げ量は増加しないと推計される	5 0	5	
	漁業の生産性	生産コストが縮減する 生産コストは縮減しない	3 0	3	
	漁業活動の安全性	漁業活動の安全性が高まる 漁業活動の安全性は高まらない	5 0	5	
	漁業就業環境	就業環境が良化する 就業環境は良化しない	2 0	2	
	上位計画への貢献度				
ふるさと秋田元気創造プラン	戦略を支える取組として貢献度が高い 戦略を支える取組に間接的に貢献する 戦略を支える取組には貢献度の低い事業である	5 3 1	3		
計		20	18		
効率性	事業の投資効果				
	費用対効果	B / C = 1 . 2 以上 B / C = 1 . 0 以上 1 . 2 未満 B / C = 1 . 0 未満	5 3 0	5	
	事業実施コストの縮減				
	コスト縮減計画の実施状況	実施している 実施を予定している 実施を予定していない	5 3 0	5	
	当初計画との比較				
当初計画事業費からの増減	当初計画事業費以内 10%以内の増加 10%以上の増加	5 3 1	5		
計		15	15		
熟度	事業の推進				
	事業の推進体制	協議会等の推進体制が設立済み 推進体制の設立準備中 推進体制設立の予定なし	5 3 0	5	
	将来の維持管理				
	維持管理体制	管理者・受託者が確定済み 協議中であるが合意見込み 未定である	5 3 0	5	
	環境との調和への配慮状況				
	環境保全への配慮	十分に配慮されている 配慮について検討している 特に配慮はない	5 3 0	5	
事業の進捗状況					
今後の進捗見込み	課題は解決済みで順調な進捗が見込まれる 将来的な課題はあるが当面進捗に影響がない 課題解決の見込みが無く事業が停滞する	5 3 0	5		
計		20	20		
合計			100	83	

2. 判定

ランク	判定内容	配点	判定	摘要
	優先度がかなり高い	80点以上		
	優先度が高い	60点以上～80点未満		
	優先度が低い	60点未満		

評価種別 継続箇所評価
適用基準名 漁港漁場整備事業（漁港整備）

事業コード(H19-農-再-7)
箇所名 (にかほ市金浦)

1. 評価内訳

観点	評価項目 細別	評価基準	配点	評価点	摘要
必要性	事業の必要性				
	県民のニーズ	一般県民を対象とした調査でニーズが高い 一般県民を対象とした調査でニーズを把握 一般県民を対象とした調査を行っていない	5 3 1	3	
	社会経済状況変化による需要変化	増大している 特に変化はない 低下している	5 3 1	3	
	事業箇所の現状				
	漁業活動の現状	操業におおいに支障を来している 操業にある程度支障を来している 操業に支障を来していない	5 3 0	5	
	今後の具体的効率性見込み				
	出漁日数の増加	出漁日数の増加が推計される 出漁日数は増加しないと推計される	5 0	5	
	作業時間の短縮	漁業作業時間が短縮する 漁業作業時間は短縮しない	5 0	5	
	計		25	21	
	緊急性	漁業活動における支障			
現況の港内静穏度		所要安全波高の2倍以上で事故の危険がある 所要安全波高より高く出漁・係船に支障がある 所要安全波高を満たしている	5 3 0	3	
現況の漁港施設状況		老朽化又は機能不全のため施設利用ができない 老朽化又は機能不全のため利用上支障がある 特に施設利用上の支障はない	5 3 0	3	
事業未実施の影響		事業効果や効率性、周辺への影響等が大きい 事業効果や効率性、周辺への影響等は小さい	5 1	5	
他事業との関連		関連する他事業との調整で緊急性が高い 関連する他事業との調整で緊急性は低い	5 0	0	
計			20	11	
有効性	今後の具体的有効性見込み				
	水産物属地陸揚げ量の増加	陸揚げ量の増加が推計される 陸揚げ量は増加しないと推計される	5 0	5	
	漁業の生産性	生産コストが縮減する 生産コストは縮減しない	3 0	3	
	漁業活動の安全性	漁業活動の安全性が高まる 漁業活動の安全性は高まらない	5 0	5	
	漁業就業環境	就業環境が良化する 就業環境は良化しない	2 0	2	
	上位計画への貢献度 あきた 2 1 総合計画	施策目標の中核事業であり貢献度が高い 施策目標に間接的に貢献する 施策目標とは別のその他関連事業である	5 3 1	3	
計		20	18		
効率性	事業の投資効果				
	費用対効果	B / C = 1 . 2 以上 B / C = 1 . 0 以上 ~ 1 . 2 未満 B / C = 1 . 0 未満	5 3 0	5	
	事業実施コストの縮減 コスト縮減計画の実施状況	実施している 実施を予定している 実施を予定していない	5 3 0	5	
	当初計画との比較 当初計画事業費からの増減	当初計画事業費以内 10%以内の増加 10%以上の増加	5 3 1	5	
	計		15	15	
熟度	事業の推進				
	事業の推進体制	協議会等の推進体制が設立済み 推進体制の設立準備中 推進体制設立の予定なし	5 3 0	5	
	将来の維持管理 維持管理体制	管理者・受託者が確定済み 協議中であるが合意見込み 未定である	5 3 0	5	
	環境との調和への配慮状況 環境保全への配慮	十分に配慮されている 配慮について検討している 特に配慮はない	5 3 0	5	
	事業の進捗状況 今後の進捗見込み	課題は解決済みで順調な進捗が見込まれる 将来的な課題はあるが当面進捗に影響がない 課題解決の見込みが無く事業が停滞する	5 3 0	5	
	計		20	20	
合計			100	85	

2. 判定

ランク	判定内容	配点	判定	摘要
	優先度がかなり高い	80点以上		
	優先度が高い	60点以上 ~ 80点未満		
	優先度が低い	60点未満		